

ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップとは

ため池ハザードマップは、地震や大雨によって万が一ため池が決壊するおそれがある場合または決壊した場合に迅速かつ安全に避難するために役立つ情報を提供するものです。

また、住民のみなさんがため池ハザードマップを通じて想定される被害を知ることによって、地域の防災・減災力の向上に取り組まれることを目的としています。

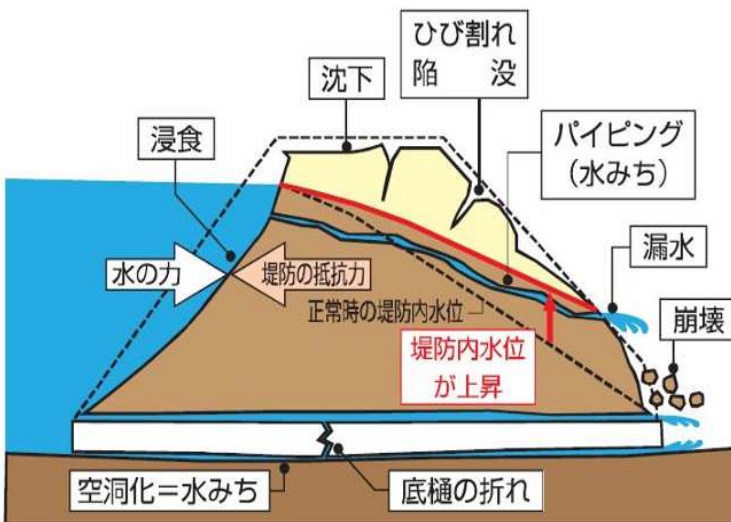
ため池ハザードマップの注意点

自然災害とは複雑なものであり、その発生地点や発生規模などを特定することはできません。よって、ため池ハザードマップに浸水想定区域や避難場所等を記載しておりますが、想定を超える降雨や隣接する河川の氾濫等により、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。ハザードマップで安全とされている地域にいても安堵感から避難をしなくなることがありますが、現実にはその被害想定を大きく越える災害が発生する可能性もゼロではありません。そのことを念頭において臨機応変に対応することが重要となってきます。例えば避難所に避難する余裕がない場合等、状況によっては自宅の2階など高い所に待機する垂直避難も有効な手段です。

浸水は徐々に広がっていくため、浸水区域全体で同時に発生することはなく、浸水深は瞬間の最大深さであり継続的な深さを示したものではありません。

最後に、ため池ハザードマップが公表されたため池が直ちに危険であることを示すものではありません。

ため池が危険なのはこんなとき



豪雨時

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

情報の伝達手段

市からの避難情報は、下図のような手段で住民のみなさんに伝達されます。

